＜町史だより＞

歷史・文化などの資料
古い建物写真、風景写真
など、情報の提供をお願
いします。

～ 町史編さんにかける想い ～

【町長のあいさつ】

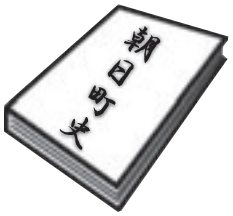
新年あけましておめでとうございます。

昨年は、町制60年を迎え、町民の皆様方とともにお祝いできたことをうれしく思っています。また、これを機に新たな町史編さんを本格的に取り組むことになりました。

こうした取り組みは、町民の皆様方の郷土愛を育むことができ、さらには学術研究の成果を活用した町の活性化、発展にもつながるものと大いに期待しているところです。

現行の町史は、昭和49年に刊行され、すでに40年以上が経過しています。この間、町では新たな、そして、貴重な歴史資料の発見があり、これらの発見は、町にとってかけがえのない宝物であると思っています。この宝物を町民の皆様方と共有し、次の世代へ伝えていくことは、行政に課せられた責務と考えます。

近年、町の人口は急激に増加し、新しい「朝日町」になったと言えます。新しい町民の方々には、地元となった町の歴史を知っていただき、旧来からの町民の方々には、ふるさとを再認識していただく機会として、皆様方のお力をお借りしながら事業を遂行して参ります。



【塚本委員長のあいさつ】

皆さんは「町史」と聞いて、何を思い浮かべることでしょうか。立派な装丁でずっしり重く、本棚に飾られたまま手に取ることもない冊子でしょうか。エライ武将や公家たちの政治や芸術などが書かれた、堅苦しく小難しいイメージをお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。しかし、私たちが作りたい「朝日町史」は、そんなものではないのです。

朝日町には、ここで生まれ育ち、昔から住み続けている方も、たまたまご縁があって移住された方も、いらっしゃるでしょう。つながりは様々であっても、この町に住んでいることの意味や価値を見出すのは、心豊かに生きていく上で大事なことです。

どんな町にもその町ならではの個性があります。それは、皆さんの御先祖や、ここで暮らしていた先輩たちが築き上げてきたものです。そのかけがえのない個性は、皆さんが誇りを持って次の世代に受け継いでいく、大事な宝物だと思います。

普段見慣れた員弁川や朝明川、東海道、町内に広がる田畑や丘陵地帯、工場や住宅街、これらの場所にはどのような歴史ドラマがあったのでしょうか。歴史学とは、既に明らかにされた出来事を年表式に覚えることではありません。古い資料を探し、読み解くことで、今まで知らなかった新しい事実を発見することにこそ、醍醐味があるのです。

町史編さんに従事する委員は、朝日町に住む方も居ますが、私のようにこれまではご縁の薄い者も少なくありません。私たちは歴史のプロですが、住民のプロは皆さんです。是非、朝日町の現在を、そして皆さんがご存じの過去を、教えて下さい。私たちは、様々な資料を用いながら、皆さんと一緒に魅力ある町史を作りたいと考えています。

問い合わせ先：町史編さん課（朝日町公民館内）TEL 377－5195　FAX 377－5196